〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　昭和五年二月二十五日　磐城新聞　〔火曜日〕　第二千七百六十三號　〔一〕

（二十四日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭　第一・第三日曜
定價　一部二錢郵税　一ケ月六十錢　十五錢
廣告料　逐行六十錢　指定廿錢堺
發行兼編輯兼印刷人　鹽沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

子の無い夫婦

單なる友人關係

最近新しく西洋から輸入して來たもので「友愛結婚」といふ面白い問題が、ぱつ〳〵日本人同士の間にも論議されて參りました、ある人々はそれを非常に感心して日本にもさういふ制度が承認されたならばいゝと云ひ、ある人々は結婚といふものを嚴肅な立場から考へて徹頭徹尾友愛結婚を拒否してゐますが近代人の間には結婚にも少くも之に近い氣持を持つ人々が相當數へられて來た事は、部分的ではあるまいかとは思はれて來ました。又事實上これに近い結婚生活をしてゐる人々も既に日本でも見うけられてゐる事であります、しかし友愛結婚といふのは、日本人がこれまで云つて居たやうな「茶呑み友達」といふ性質のものとは全然その出發點を異にしてゐます、では一體この友愛結婚といふ新しい言葉は何處の國で起つたかといふと、これはアメリカで有名なランバーの少年審判所の判事リンジイ氏によつて云ひ出されたものであります、氏は少年少女犯罪者の裁判官として、その保護者として、且研究家としてアメリカ、於ける大權威者と云はれる人で、氏は先づ「友愛結婚」制度を說く前に次の樣な、何故それを必要とするかの講

原因　に就いて例を擧げて居ります。

一、近代人は晩婚になつてゐる事その原因は

（イ）學校生活の長期にわたるため婚期のおくれる事

（ロ）婦人の經濟的獨立が多くなつたこと

（ハ）女性が社會的に男子と同等の權利を主張し、且それを獲得する樣になつた事から男子に隷屬する理由はないといふ樣な觀念を一般的女性が持て來た事

二、近代女性の個人主義が異常なる發達を見せて來た結果離婚率が激增して來た事

三、從つて男女共に獨身者が社會的に多くなつて來た事、長い青春期を獨身でおくる者が多くなつて來た事

四、それ等が主なる原因となつて社會惡、性的犯罪現れてゆく事、殊に性的犯罪現れてゆく事、殊に性的犯罪は近來非常に著しく殖えて來て、性的放縱不義、色角關係、墮胎等は殆ど一性の惱み」に胚胎し居、事等、諸項を擧げてそこらの

諸問　題を救ふのは結局結婚制度を改めねばならないといふのであります それでは如何なる方法が最もいゝか、こゝに新しい結婚法である「友愛結婚」なるものを氏は案出したのであります。即ち「友愛結婚」といふのは產兒制限の知識をもちながら男女自由に交際をつゞけて子供の出來ない限り何時でもその友愛結婚を取消す事が出來る。又相互の同意如何によつて永長く家庭結婚に入る事も來らといふのであります が、要はこの友愛結婚

制度　によつてあらゆる性的犯罪、性的放縱、盲目的戀愛を防ぎ以て社會を淨化し青春期における男女の性的惱みとそれからくる慘事を救はうといふのであります。

白馬の雪
松本德一吟釀
電話七五二番
芳醇無比

二黑　內に屈する所ありとも外には大に伸ひる日▲三碧　早呑み込する時は意外の失敗を招くべし▲四綠　苦は身を磨くの砥石と思ふて辛抱すべき日▲五黃　身を低ふして根限り働くときは大吉となる▲六白　外に出でゝ人の口舌を聞くより

講談

幕末奇傑高山彦九郎

（74）中西洋々作
布施長春畫

降魔の里（九）

「それ程までに思つてくれる親があるものを、なんで好きこのんでこうもた道にふみ入つたのぢや」

彦九郎の言葉は十七八の少年のそれとも思へませんぬ、說くところは道徳の根本に法かどうか。かう考へて見ればたのづから分らう。死といふことは、此の際、貴樣として一番卑怯な遁れ道なのだ。それよりもその悔ひ改めた心をもつて、罪萬死にあたる体を萬人の幸福の爲に、或は國家君王の爲に、ひいてはその方の及の錆となつた不幸な人たちの追福の爲に捧げる心はないか。」

「不用のその体を生き長らへて公共の爲に捧げる心はないか。天皇のた爲に働く心はないのか」

あたりは寂として聲なき夜の村里です。

「靜もれる夜の空氣をふるはせてひこ九郎の聲は縷々として父の如き至情をのべました。

「お武家さま」

長い間の沈默の後に、太吉は深い感激のこもつた聲で云ひました

「よく仰しやつて下さいました、なんにも申し上げませぬ、これこれを御覽下さいませ」

云ひ乍ら、腹に擬した大刀を頭部にもつていつたかと思ふとぶつつり根もとから髻を斬り落しました

「うんむ、偉い！」

それを見てひこ九郎は心から賞讃をして云ひました

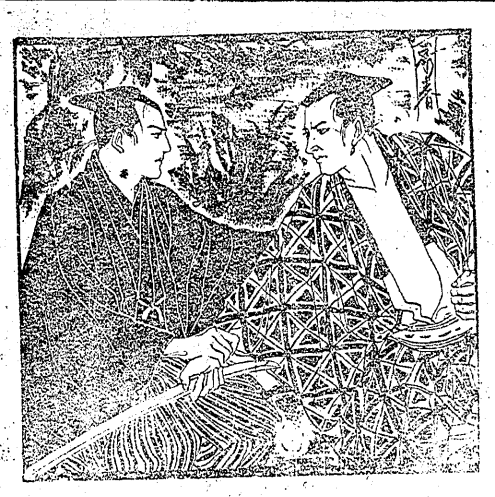
「考へても見よ、貴樣の今迄に犯して來た罪は如何に重いことか、幾たりもの人をあやめ、財物をかすめ…それだけの罪を償ふだけでも命が幾つあつても足りぬといふことが分らぬか」

「……」

「そこで、考へて見ねばならぬ、死が償罪の唯一の方法かどうか。かう考へて見ればたのづから分らう。死といふことは、此の際、貴樣として一番卑怯な遁れ道なのだ。それよりもその悔ひ改めた心をもつて、罪萬死にあたる体を萬人の幸福の爲に、或は國家君王の爲に、ひいてはその方の及の錆となつた不幸な人たちの追福の爲に捧げる心はないか。」

「……」

「不用のその体を生き長ら



「よく、そこ迄の覺悟がついた。民助殿！」

云ひ乍ら、後を振りかへりました。

「みられい、太吉殿はふつつり心を改められたぞ」

「はい、有りがたうムいました。何ともお禮の言葉がムいませぬ」

「あつ！とつさん」

太吉は、それを見て感きはまつて叫びました。

「太吉！」

二人は、かたくいだきあひました

太吉は、始て詫びる眞情の叫び

「おめえさん一人は殺しはしねえ、俺もこれからすぐにお供を致します」

云ふや、その場にとり落した、大刀をとりあげると我腹めがけてぐさとつきささうといたしました

「早まるなつ！太吉！」

彦九郎は素早くその手を押し止めました。

「いゝか、御武家樣、とめねねで置いて下さい。死なして下せね。それが御慈悲といふもんだ」

「えいつ！たわけたことを申すなつ！」

彦九郎は故意に聲あらげて云ひました。

「死んで、それで貴樣はつぐなつもりか」

「……」

「貴樣の父が死ぬときに云つたといふ言葉、倅の命だけは助けて下さい。惡魔に魅入られてゐて、本性からの惡人ぢやないのですから と、さういつた言葉の意味が貴樣には分らぬか」

「……」

明日の吉凶
新月一日　二日
下弦七日　五日
上弦十二日　十三日

▲一白　地の利は無けれども人の和はあり進んで吉▲

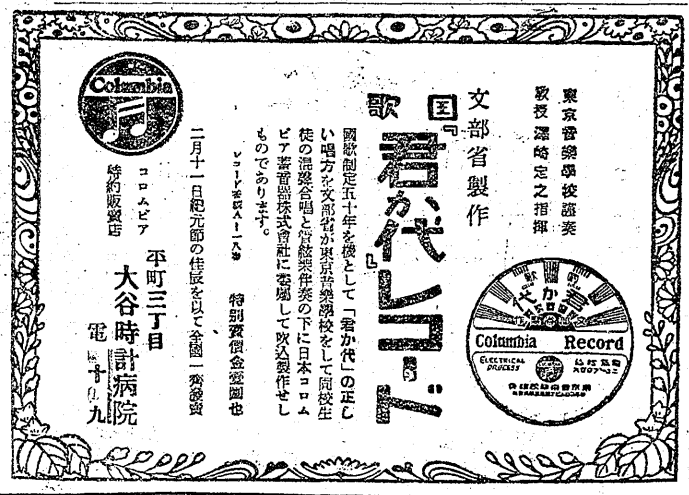
廣告

山野邊藥局
痔の最高內服藥
ダイサン錠
鼻のクスリ
チクノール錠
平町五丁目角

開業披露
內科、小兒科專門
吉田醫院
日本醫學士　吉田正
四ッ倉町驛前　電話三〇番

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）　電話一一四番

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は三四三番



外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

サロンのバーには
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います
ドーゾ御試食を……
美味で評判のきもちよいサロン
田町松月堂隣り
電話三五二番
男、女給仕人數名募集

夜診
胃腸
梅毒
內科
十二指腸虫病
淋病
婦人病
皮膚病
專門
內科部
外科部
松村胃腸病科醫院
（平南町電話一〇七番）
療間

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平國五〇七番

◎ネイションストーブ　値下斷行
連續完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉
◎スタデリナ石油コンロ
◎及び林內式石油ストーブ
燃料經濟薪炭ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在ニシテ体裁優美ナリ緊縮如代ニ最モ理想的國產品デアリマス（弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ極メテ薄利多賣主義ヲ以ッテ皆樣ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願ヒ上升
日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油會社重油特約店
諏訪電氣株式會社カーバイト特約店
茨城縣下館驛前（電話五五番）
商號　吉田油槽所
本店　關彰商店
常磐線平町一丁目（電話六一番（九〇二番））
關彰商店平支店

或る候補者は選擧費五萬圓 買收も大掛りに

第三區選擧後聞

第三區の政戰は終りを告げたが政戰の跡を顧みると可成り大掛りな買收も行はれた樣である、即ち第三者の運動員が何時の選擧にも警眼を巧に避け、大袈裟に買收を行つてゐた

今度も運動費五萬圓を準備した候補者もあつたといふ評判、なんでも一票五圓位の割でブローカーの手に渡り、それが仲買ひのブローカーを經て有權者の懷に入るまでに一圓から六十錢に値切られたといふ噂さである制限選擧時代には買收の衝に當つたものが候補者へは確かに買收したことを立證し、又確かに投票した事を立證せしむるために投票紙に特定の記號をさせたけれど、その戰術も探知せる當局は、點を附しても無効とするやうになり

その後推薦名簿を持參するなどいろ〳〵の脫法行爲を以て買收は繰返されてゐるが今回の選擧には正式の運動員には眼もくれず彼の第三者にて運動するいはゆる呑舟の魚に眼をつけ、その行動を精密調査し一々檢事局へ報告し檢事の手にて取調べる事にしたので、比較的頭株ばかりが檢擧されたやうだが、それと同時に町村毎に闘票し識別する事は買收のために非常に都合のよい事で、又町村の自治までも黨派根性で始終軋轢せしむる事になるから

今後は各町村の分を混合して投票することに改めれば何村が政友派で何町が民政派だといふ色を附ける必要なく、又よしんば買收されても立會人などに早變りしてる運動員のにらみが利かなくなつてゐるから自己の信する政黨人物へ投票が出來るだらうと其筋の人が語つてゐた

小名濱駐在 選擧美談

平署管内小名濱巡査駐在所鈴木長吾巡査は去る十五日郷里大沼郡の父が死亡したが政戰の取締最中だつたのでこれも語らず歸宅しないで職務に服務したので評判となつてゐる

佐藤君と戰ったのが何よりの苦痛

干渉壓迫にも苦しんだ木村清治氏の談

惡戰苦闘遂に最後の勝利を獲得した第三區木村清治氏は戰ひ拔いた疲勞も見せず歡喜の面持の中にも全國同志不振に沈痛の色を浮べながら左の如く語る

苦戰苦闘の連鎖三旬その間結束して戰つて呉れた同士諸君の奮闘は感激に堪へませぬ、幸ひ私が再度當選した上に選擧民諸君に申上たやうに暗黑な此現在の日本を明るい吾々の日本に健直す爲めに現内閣の倒潰に全力を擧げませう、戰ひは勝つた併し私として今度の戰ひに不愉快に堪へなかつたのは故意の干渉の爲めに佐藤君と戰はなければならなかつたことは私としては堪へられない苦痛であつた

尚ほ木村候補を守つて來配を振ひ惡戰苦闘を續けた山崎事務長は談る

同志諸君の結束に依り此物凄い干渉彈壓の中を戰ひ拔き幸ひに勝つことが出來たのは吾々の喜びであると共に選擧民の喜びでなければならない云々

比佐氏當選 祝賀會

非常な盛會

民政黨候補比佐昌平氏當選祝賀會は二十三日午後一時から平町南町山十組繭乾燥所に開催したが出席者二千餘名頗る盛會であつた

選擧では嘗て敗けをとらぬ

木村氏の悅び

廿五日祝賀會

第三區政友派木村清治は二十一日の石城郡の開票にたいて一萬五千十九票を獲得したが二十二日の開票區双相二郡から正確な投票が未知數で同志である佐藤氏と勝負は最後までデリケートな興味ある得票數を表し喜悲の境を目前に木村佐藤の兩氏事務所では思ひ〳〵の異なつた種々なる感想を擧げて互に勝た〳〵の氣勢を擧げてゐるが仲々に決勝票には到來しないその代りに異樣な感を深からしめ同日午後七時十分に至り原の町富岡町の開票が終了し得票結果

郡	町村別	有權者	木村 前回得票	木村	佐藤	比佐	氏家
相馬郡	中村	二、六二七	七	三四	五一八	一一	一、五一五
	大野	七五九	〇	八	一五六	六	五〇二
	飯豊	六七六	〇	三	一七一	三	三七四
	八幡	五一九	一	四	五一	四	三七五
	山上	三五六	一	二	四四	三	二五四
	玉野	八七	〇	一	七四	四	二五四
	磯部	三九三	〇	三	二四五	五	一八七
	駒ケ嶺	四九七	〇	〇	五〇	一	二六〇
	日立木	三九八	〇	〇	二二〇	二	三八九
	上眞野	九〇三	二九	二	一七	一〇	二二七
	眞野	五八一		五	一一五	八	三一一
	八澤	五一九	五	一一	一九六	一七	三五〇
	鹿島	六六三	九	六三	六二二	九〇	一、〇三〇
	原町	二、〇三六	三	四五	四六五	六	九四
	新地	七〇六		三	二〇四	四	一四七
	福田	四一八		三〇	一六三	七	四七四
	福浦	八一二	一八	九	一二五	一四	五四〇
	金房	八三四	三		三八二	二一	七〇七
	石神	一、三九三		三二	一二二	四	三七六
	太田	六〇三	六	一三	二八八	〇	四〇二
	大甕	八三一	六	一九	一五三	五三	八四八
	小高	一、二五四	二七	三〇	二一一	二	三〇五
	新館	六九〇		三	一五六	六	三〇〇
	大須	六六三		一			
	石橋						
	飯曾						
双葉郡	久之濱	八二一	三二四	二〇九	六二	八六	二七三
	廣野	八一一	一五九	二六三	六一	一五〇	一七一
	本戸	六二七	九〇	一〇二	七九	六三	五一
	淵田	七四二	二〇	一九二	一九	六四	四四
	大野	五七七	四	一七	一三一	八〇	一七
	富岡	七九二	七九	五八	三五	三二六	七四
	上岡	七一三	三七	三三	一八	四七四	三六〇
	川内	八九四	六〇	二〇	九三	五〇六	五〇
	熊町	六一二	二五	三〇	二二六	四一四	三二七
	新山	七七三	二九	八九	二一四	三四一	二三〇
	長塚	四八〇	一九	五九	一二三	一九	三三七
	請戸	五三三	四	七	五三	七	二七〇
	幾世橋	四二三	六	五	七二	三	六七五
	浪江	一、〇五六	二五	四〇	一八三	一七	四七四
	大堀	七四九	一二	一〇	一四七	七	四五三
	刈野	七一六	一	一〇	一四三	一	二八一
	津島	四〇九	〇	一	八五	四	三二〇
	萬尾	四一一	〇	二七	二一一	一	七〇七
	大久	四二八	二八〇	一九九	四〇	一四	三七六
	木村			佐藤	比佐		氏家
石城郡計		一〇、〇六〇	四、〇三八	二一、五九三	一、五一六		
總合計		一一、六八二	一一、一八七	二二、五〇三	一七、七六〇		

（相、双町村別得票數）

田子作の選擧感

畑尾己之太郎

俺らは始めて衆議院の投票をやつただから深いことは知らねねが、無名の婦人から同情金を貰ふとか小學生から手紙に添へて同情金を贈るとかいふのは馴合ひか親の入智慧でやつた仕事か知らだんべねと疑はれるだ。と事件べいやる。呆れて物が言ひねねだ。よく世間で候補になつたときは泣き面下げて一票を願つていざ代議士となれば自分獨りでなつた氣で威張つて歩くと言ふが代議士は偉ねだから威張るのは構はねえが立候補當時の心を以て國民に見ねる人が少いのに心細くなるだ

候補者の職業に農はある、農は農でも年中東京の立派な邸に住つて自動車で乘に奔走するのは理屈は別と翅す農だから百姓の生活をよく知らねえ人達だ。これねようだ、優しい筆法の樣では農村振興も覺束ねえや付手紙や白粉臭い金切聲ちも少し何とか考へて貰ひてやおらげ動くこたあ出來ねえや。たらは政黨の幹部へ同志諸君の結束に依り此物凄い干渉彈壓の中を戰ひ拔き幸ひに勝つことが出來たのは吾々の喜びであると共に選擧民の喜びでなければならない云々

「わが黨に投票しないものは」と言ふことに相違があ

一方では「不景氣を切拔

勝負は最後までデリケートな興味ある得票數を表し喜悲の境を目前に木村佐藤の兩氏事務所では思ひ〳〵の異なつた種々なる感想を擧げて互に勝た〳〵の氣勢を擧げてゐるが仲々に決勝票には到來しないその代りに異樣な感を深からしめ同日午後七時十分に至り原の町富岡町の開票が終了し得票結果

郡	町村別	有權者	木村 前回得票	木村	佐藤	比佐	氏家
高平		五七一	四二	一一七	一二		二〇〇
双葉郡	久之濱	八二一	三二四	二〇九	六二	八六	二七三
	廣野	八一一	一五九	二六三	六一	一五〇	一七一
	本戸	六二七	九〇	一〇二	七九	六三	五一
	淵田	七四二	二〇	一九二	一九	六四	四四
	大野	五七七	四	一七	一三一	八〇	一七
	富岡	七九二	七九	五八	三五	三二六	七四
	上岡	七一三	三七	三三	一八	四七四	三六〇
	川内	八九四	六〇	二〇	九三	五〇六	五〇
	熊町	六一二	二五	三〇	二二六	四一四	三二七
	新山	七七三	二九	八九	二一四	三四一	二三〇
	長塚	四八〇	一九	五九	一二三	一九	三三七
	請戸	五三三	四	七	五三	七	二七〇
	幾世橋	四二三	六	五	七二	三	六七五
	浪江	一、〇五六	二五	四〇	一八三	一七	四七四
	大堀	七四九	一二	一〇	一四七	七	四五三
	刈野	七一六	一	一〇	一四三	一	二八一
	津島	四〇九	〇	一	八五	四	三二〇
	萬尾	四一一	〇	二七	二一一	一	七〇七
	大久	四二八	二八〇	一九九	四〇	一四	三七六
	木村			佐藤	比佐		氏家
石城郡計		一〇、〇六〇	四、〇三八	二一、五九三	一、五一六		
總合計		一一、六八二	一一、一八七	二二、五〇三	一七、七六〇		

平町明年度の豫算審議町會

約一割の減額を見ん

一戸平均二十圓

平町五年度豫算案附議の平町會は來る二十六日午前十一、六九七 木村 清治 一一、一四六 佐藤庄太郎が確定し四百九十八票の差で木村氏の優勝となつた同氏は選擧には負けた事のない男ではあるが最後まで沈痛の得票が表れてゐただけ山崎事務長初め各運動員の喜びとその榮冠は素張らし午後一時平町聚樂館で盛大に行ふと

社塙告操

右之者本社と無關係に付き此之段社告仕候也

二月廿四日 磐城新聞社

濱三郡木炭組合の明年度豫算は

前年に比し四割の削減か

新事業は倉庫建設

濱三郡木炭組合では既報の如く二十二、二十三の兩日平町事務所樓上に於て代議員會を開催し昭和五年度豫算編成並に木炭倉庫建設其の他に付き協議したが昭和五年の豫算原案は前年度豫算三萬四千五百九十四圓四十錢から約四割内外を減する樣樣であるが未だ決定を見ない次に木炭倉庫建設は一千二百九十五圓と決定したが之が建設場所は目下協議中であるが、多分湯本町に建設する事となるものとみられて居る尚ほ其他木炭檢査料生産荷表料は目下の販賣上やむをゑず出來るだけ減じた樣である

平人事相談所 基金募集

平町の平館、有聲座の兩活動常設館では人事相談所基金募集の意味で來る二十五日、二十六日の兩日營業の利益金全部を寄贈することとなつた

赤井嶽藥師 春季大祭

廿七日執行

石城郡赤井村赤井嶽藥師如來並に十二神將の春期大祭は來る二十七日同寺院に於て盛大に執行するが當日は先に智山派管長に就任した旭純榮氏が歸山し大護摩修行をなす事になつた

石城鮮魚組合から平魚市場に對し

委員を擧げ二ケ條要求

兩者間に不穩漲る

石城鮮魚組合では去る二十三日同組合長鈴木又六を委員を上げ平魚市場に對し

一、鹽乾物の鮮魚並割戻要求の件

一、平魚市場に於て組合員外の取引を禁ずる件

一、不拂を何の程度まで認めたが會社側では斷然はねつけた模樣で兩會社内に不穩な形勢が蟠まつてゐると尚石城鮮魚組合では來る二十七日幹部會を開き再度會社側にあたる模樣であると

石の三箇條を上げ返答を求めるか

特賣!!

たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領

花春 同優等賞受領

醬油釀造元 鹽屋 山崎合名會社

電話一〇番

○ツの石炭

目方の正確

○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります

◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません

◎當店は目方の正確を期する爲めに

正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました

品質の優良

○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります大量生産ですからお安く賣る譽が出來る强味を持つて居ります

○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから

電話二二三七番へ

平驛前 ツ 阿部石炭商店

新築落成

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 (專門)

平町南町(醫診療所向電一七〇番)

大和田醫院

大和田郡司

自炊の便あり

一圓十錢のフランス

マルソー、ブランク マルソー、ルージ 生葡萄酒

優良にして安價賣行き飛ぶが如し

平二 西村屋藥舗 たはなし 三番

植田町本町

前田醫院

…入院隨時… 電一二四番